

2018年総合生活改善 第4回中央生活闘争委員会

<確認事項>

2018年3月20日
自動車総連

- ☆ 3月10日（土）の第3回中央生活闘争委員会にて確認した「回答引き出しに向けた基本態度」に基づき、各単組が精力的に交渉を進めてきた結果、先行的に回答引き出しにあたった拡大戦術会議登録組合（12組合）においては、全ての単組で昨年以上の賃金改善分を獲得したのと同時に、満額に相当する年間一時金を獲得する等、価値ある成果を成し遂げることができた。
- ☆ 加えて、車体・部品、販売、輸送、一般の各部門においても解決が進みつつあり、自動車総連全体では、現時点、全体の約2割にあたる220単組で妥結（賃金）しており、賃金改善分を獲得割合（220単組中214単組、97.3%）、獲得平均額（1,207円）とも、昨年同時期（それぞれ89.7%、1,053円）を上回る状況となっている等、各単組による精力的な回答引き出しが随所に見られている。

1. 全体の解決状況（2018年3月20日（火）午前9時時点）

1) 賃金

- ・集計対象1,095単組の内、現時点において、妥結・妥結方向に至った単組は220単組、解決率は20.1%である。
- ・妥結・妥結方向に至った単組の内、賃金改善分を獲得した単組は214単組（獲得割合97.3%）、獲得平均額は1,207円と、いずれも昨年同時期を上回る状況となっている。
- ・個別賃金については、495単組が要求し、現時点において、117単組が回答を引き出している。

		妥結・妥結方向 単組数	賃金改善分獲得		
			単組数	獲得割合	獲得平均額〔単純平均〕
全体 (前年最終実績)		220/1,095 (1,100/1,100)	214 (799)	97.3% (72.6%)	1,207円 (1,234円)
業 種 別	メーカー	13/13	13	100.0%	1,750円 (1,415円)
	車体・部品	146/390	141	96.6%	1,177円 (978円)
	販売	34/585	33	97.1%	983円 (1,210円)
	輸送	7/27	7	100.0%	1,264円 (1,371円)
	一般	20/80	20	100.0%	1,453円 (1,351円)
規 模 別	3000人～	30/30	30	100.0%	1,521円 (1,254円)
	1000～2999人	46/73	46	100.0%	1,285円 (1,052円)
	500～999人	49/126	48	98.0%	1,116円 (1,103円)
	300～499人	30/130	30	100.0%	1,106円 (1,112円)
	～299人	65/736	60	92.3%	1,118円 (1,313円)
拡大戦術会議登録組合		12/12	12	100.0%	1,873円 (1,358円)

2) 非正規労働者に関する取り組み、企業内最低賃金の取り組み

- ・現時点、非正規労働者の取り組みで進展があったとする単組の多くで、非正規労働者の時給や日給の「有額」での回答引き出しが見られることに加え、企業内最低賃金の締結水準を引き上げた単組も昨年を上回るペースで見られる等、取り組みの前進感が表れている。

3) 年間一時金

- ・集計対象 1,081 単組の内、妥結・妥結方向に至った単組は 183 単組、解決率は 16.9%である。
- ・年間協定による回答を引き出した単組における年間平均回答月数は 5.15 ヶ月となり、137 単組が 5 ヶ月以上を獲得している。また、前年と月数比較可能な単組の内、143 単組で前年回答月数以上を獲得している。

4) 働き方の改善

- ・拡大戦術会議登録組合を始め多くの単組において、恒常的な長時間労働の是正や職場全体の生産性向上に資する話し合いが積極的に行われ、具体的な施策や労働条件・職場環境の改善にも繋がっている等、賃金・一時金のみならず、こうした働き方課題に関する労使の主体的な取り組みが、自動車産業の多くの個別労使に拡がりを見せつつある。

2. 今後の進め方

- ☆ 拡大戦術会議登録組合を含め本日までに先行的に回答を引き出した 220 単組により作り上げられた回答引き出し環境を最大限活かし、自単組・自労連、及び自動車総連全体の底上げ・格差是正の前進を果たすためには、本日以降、全体の約 5 割（昨年実績ベース）が交渉を終える 3 月末までの足の運びが重要となる。
- ☆ そのためにも、第 3 回中央生活闘争委員会（3/10）にて確認した「回答引き出しに向けた基本態度」に従い、次の通り、各単組・労連、自動車総連本部がそれぞれの役割を果たすことで、全体の交渉を自動車総連一体となって最後まで追い上げていく。

<各単組>

- ・現在も交渉が続いている全ての単組は、第 3 回中央生活闘争委員会（3/10）にて確認した「回答引き出しに向けた基本態度」に基づき、交渉を精力的に追い上げると同時に、早期決着に向け最大限取り組む。
- ・とりわけ賃金については、あらためて、自らの目指す賃金を実現すべく「底上げ・格差是正を何としても進める」とした自単組の要求に込めた思いに強くこだわり、最後まで交渉を追い上げる。

<各労連>

- ・各労連は、自動車総連全体の強い意思を形にし総合生活改善における真の意味での構造転換を確実に前に進めるべく、それぞれの業種毎の交渉状況を踏まえ、中小単組に対する具体的サポートを着実に遂行し、中小単組の最大限の回答引き出し及び早期決着の後押しを図る。
- ・とりわけ、4 年連続で改善分を獲得できていない単組に対しては、重点的にフォロー・サポートする。

<自動車総連本部>

- ・自動車総連本部は、各単組・労連の後押しとすべく、速報対象組合の妥結情報や全体の回答引き出し状況についての組織内外への情報発信を、最も効果的なタイミングで実施する。

- ☆ 第 5 回中央生活闘争委員会を 4 月 20 日（金）に開催する。

【回答引き出しに向けた基本態度】（第3回中央生活闘争委員会<確認事項>より再掲）

☆我々自動車総連は、自動車産業労使の果たすべき責任・期待と影響の大きさを強く認識した上で、産業の大転換期を労使一丸となって乗り越え、「働く者の将来不安の払拭と日本経済の自律的成長」に寄与していくべく、次に示す「回答引き出しに向けた基本態度」をもって最後まで粘り強く交渉を追い上げていくことを、ここに確認する。

<月例賃金>

- 全ての単組は、自らの目指す賃金を実現すべく「底上げ・格差是正を何としても進める」とした自単組の要求に込めた思いに強くこだわり、最後まで交渉を追い上げる。
- とりわけ、全体の回答引き出し環境を先行的に構築する拡大戦術会議登録組合（12組合）は、そうした自動車総連全体の強い思い、そして自職場の強い思いをエネルギーとして結束し、昨年獲得実績を大きく超えるべく、最終盤の交渉を機動的に追い上げる。
- 各労連は、自動車総連全体の強い意思を形にし総合生活改善における真の意味での構造転換を確実に前に進めるべく、中小を始めとした加盟単組の最大限の回答引き出し・解決の早期化に繋がる具体的な戦術・サポートを展開する。
- 個別賃金については、平均賃金との同時決着を図る。
- 非正規労働者の賃金改善については、具体的な有額での回答引き出し、かつ、一般組合員との同時決着に最大限取り組む。

<企業内最低賃金>

- 企業内最低賃金協定の新規締結、あるいは締結水準の引き上げや締結対象の拡大を要求した単組は、取り組みの前進に繋がる回答を確実に引き出す。

<年間一時金>

- 組合員の努力・頑張りに報い、更なる意欲・活力に繋げていくためにも、満額獲得に向け、最後まで押し込む。また生活の安定との観点から、季別回答や業績を意識した付帯事項は望ましくないとのスタンスのもと、年間協定にとことんこだわる。

<働き方の改善>

- 今次交渉を通じ労使で深め合った職場の生産性向上や恒常的な長時間労働の是正等の働き方課題の解決に繋がる、前進感ある回答引き出しや取り組みに確実に結び付ける。

<非正規労働者に関する取り組み>

- 要求の内容や有り無しにかかわらず、取り組んでいる全ての単組は、同じ職場で働く仲間のためにも、「一步でも二歩でも前進」に資する結論を導くとともに、来期への取り組みに繋げていく。

【早期決着に向けた回答引き出し】（第3回中央生活闘争委員会<確認事項>より再掲）

- 各単組は、ヤマ場である3月14日（水）から3月23日（金）の間で集中的に、各要求項目について同時回答を引き出すとともに、自動車総連全体では、回答指定日の重みを踏まえ、3月末決着を目指し最大限取り組み、遅くとも4月末までには全ての単組で決着を図る。
- 拡大戦術会議登録組合（12組合）は、3月14日（水）午前中に、賃金・年間一時金、非正規労働者の取り組み等の同時回答を引き出し決着する。
- 自動車総連速報対象組合は、回答指定日に、各要求項目の同時回答を引き出し決着し、即時性をもって報告する。